

看護ひろしま

広島県看護協会報

2020
November
No.234

訪問看護事業

新型コロナウイルス
「3密」対策とICTの活用

看護の動き最前線

新型コロナウイルス感染症 院内対策の取り組み

広島県と協定書締結(新型コロナウイルス)

男性看護職奮闘記

助産師職能委員会

withコロナ 産科領域の現状と課題

保健師職能委員会

保健師職能委員会の活動について

研修会レポート

栄養管理の基礎知識

支部活動報告～広島東、廿日市、三原・尾道

〔Information〕

広報委員のおすすめ書籍

協会研修時の新型コロナウイルス感染症対策について



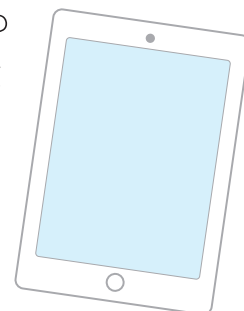
Hiroshima Nursing Association
広島県看護協会

会員数/合計20,279人
(令和2年11月1日現在)

新型コロナウイルス 「3密」対策とICTの活用

広島県看護協会 訪問看護事業局 局長 高村 艶子

新型コロナウイルスもwithコロナの時代に入りました。引き続き感染拡大防止のため「新しい働き方」が求められています。広島県看護協会訪問看護ステーションでは、感染拡大に対して、4月の早い段階から「3密」回避として感染対策を徹底しながら、直行直帰を行いました。幸いにも昨年10月にクラウド型訪問看護専用電子カルテを導入し、一人1台のタブレットを整備していたので、5つの訪問看護ステーション全てにおいて訪問先で情報収集や記録を行うことができ、業務の効率化にも繋がっています。



管理者は事業所で看護師の訪問状況を把握し、相談・指導、訪問調整等を行います。看護師のICT活用度は上がりましたが、「機能を十分に活用できない」「音声入りに慣れない」「記録等の機能が充実していない」など、まだまだ課題もあります。4月から8月までは直行直帰を主体としましたが、9月からは3密対策を取りながらカンファレンスを開始しました。また委員会や所長会議等をWebで行い移動による負担の軽減にも繋がっています。今後はICTのメリットを生かしながら、職員間のコミュニケーション、そして記録の評価等を行っていく必要があると考えます。

看護師は車の中で利用者の状態を入力し次の訪問に向かう。



管理者は看護師からの情報を確認し相談・指導を行う。



医療安全対策委員会Web開催中
——委員会——
教育・記録・感染
災害対策





広島県
健康福祉局からの
お知らせ

看護の動き最前線

県の看護職員確保対策と 新型コロナウイルス感染症の影響について

広島県健康福祉局医療介護人材課 主幹 木村 由美

県では、看護職員の確保のため、「養成の充実・強化」、「離職防止」、「再就業促進」、「専門医療等への対応」を柱とした事業に取り組んでいます。

具体的には、看護師等養成所への運営費の助成、新人看護職員研修の実施、無料職業紹介の実施、特定行為研修派遣費用の助成など多数の事業を実施しています。

しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により状況が一変しました。予定していた研修会やイベント等の中止や変更が余儀なくされ、影響は広範囲に及んでいます。参加を予定しておられた皆様には御迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。



また、新型コロナウイルス感染症に関しては、医療の専門職として、看護職員の皆さまの力がこれまで以上に必要とされています。本県の取組においても軽症者療養施設への常駐など、新たに看護職員を必要とする場面が多々生じています。その度に皆さまに御協力をいただき助けていただいています。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、通常の県事業の方向性を検討する際の基礎データとなるのが、「業務従事者届」や「職場環境づくり実態調査」や「離職者実態調査」です。回答数が多いほど、データに実態が正確に反映されます。調査への御協力をお願いします。

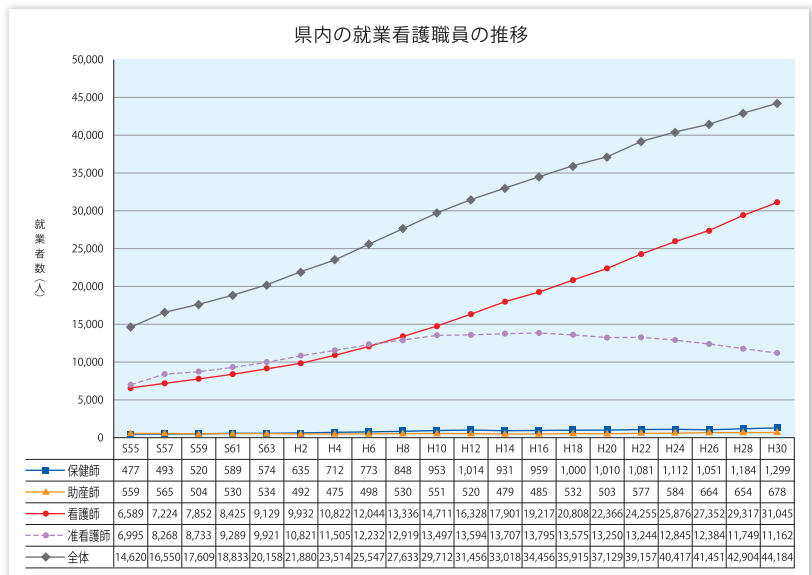


今年は「業務従事者届」該当の年です。

業務に従事している看護職員は、2年ごとに12月31日現在における氏名、住所その他厚生労働省令で定める事項を届け出ることが義務付けられています。

今年は、その「業務従事者届」該当の年です。12月頃に市町を通じて各施設に届出用紙を送付します。各施設管理者の皆さまには就業しておられる看護職員の方への制度周知を、看護職員の皆さまには届出への御協力を、よろしくをお願いします。

◆業務従事者届の結果から作成した資料



COVID-19感染対策における当院の取り組み

医療法人JR広島病院 看護師長、感染管理認定看護師 新田 由美子

当院は急性期病棟と地域包括ケア病棟を持つ275床の病院です。現在、「新型コロナウイルス感染対策本部」を設置し、情勢の変化を踏まえた感染対策を検討・実行し、通常の医療・看護を行いながら、新型コロナウイルス感染症患者や疑い患者に対応しています。

新たな取り組みとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、疑い患者の早期発見・早期隔離のために、トリアージブースを設置し、トリアージナースを配置しました。トリアージナースの配置により有症状者に対して、適切に早期対応することができています。



新たに設置したトリアージブース

特に、今回は平時からの感染対策推進の重要性を実感しています。新型コロナウイルス感染症対策は手指衛生や咳エチケットなどの標



病院玄関でのトリアージナース

準予防策の徹底が重要になります。当院では、以前から手指衛生の取り組みを推進しており、年々、アルコール手指消毒剤使用量が増加し、手指衛生遵守率も上昇しています。今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりアルコール手指消毒剤使用量が更に増加しました。このことは、新型コロナウイルス感染症対策だけでなく、院内における医療関連感染の予防に繋がっていると思われます。

また、新たな感染対策や平時の対策を院内で継続して徹底するためには、病院全体の協力が不可欠です。職員だけでなく清掃や警備など協力会社のスタッフも含めた院内全体が一丸となることで、感染対策が向上していると感じています。

広島県と 協定書締結

広島県看護協会は、医療機関等における新型コロナウイルス感染症クラスター発生時、施設への看護職員派遣が必要となった時のために、広島県と協定書を8月12日に締結しました。

※応援派遣ナースの登録を、多くの施設からいただきました。

※今後も、新型コロナウイルス感染症に関連した研修会を随時開催しますので、ご参加ください。



withコロナ 産科領域の現状と課題

助産師職能委員会 委員：社会医療法人 里仁会 興生総合病院 小澤 美香

今年2月から感染拡大した新型コロナウイルス感染症は、今ではwithコロナとして、共存していく流れになっています。県内の産科関連の各施設でも、標準予防策およびコロナ対策を行った上で、オンラインもしくは条件付きで、集団指導、里帰り分娩、立ち合い分娩、母性実習を再開し始めています。

その中で、思い描いていた出産ができなくなった妊婦や家族の不安の増大、感染拡大地域に居住する家族との接触が制限されることによ

る産後の育児支援不足、今まで入院中に行われていた家族への育児指導が行えないなどの現状があります。また、乳腺炎など産後特有の発熱受診時には、コロナとの鑑別が必要なため、慎重な対応を要します。これらの課題には、県の方針に基づき、施設の規模に合わせて創意工夫しながら取り組んでいます。

ソーシャルディスタンスが必要な今だからこそ、助産師一人ひとりがいつも以上に時間をかけ、心に向き合い寄り添って、ケアしています。

保健師職能委員会の活動について

保健師職能委員会 委員：広島市健康福祉局保健部健康推進課 坂本 直美

保健師職能委員会は、県・政令市・中核市・市町の行政、産業、教育機関の職域からの委員8人で構成されており、原則毎月第2土曜日に活動しています。活動目標を、「保健師の資質向上とネットワークの構築を図る」とし、各職域が抱えている現状や課題について意見交換し、それを踏まえて研修会の企画・開催を行い、資質の向上を図っています。



今年度は、7月に計画していた「災害時の保健師活動」についての研究会は、新型コロナウイルス感染症拡大にともないやむを得ず中止しましたが、9月はコミュニケーションに関する研究会を実施しました。

今後は、産業分野と行政分野保健師の連携を目的として、各保健師団体と共催し、12月に「地域保健・産業保健フォーラム」を開催します。また、保健師・助産師・看護師三職能の連携を図ることを目的に、1月に合同研究会を開催する予定です。

委員の職域は様々ですが、職能委員会の活動目標を達成するよう、それぞれの立ち位置から意見を出し合い、和気あいあいと活動しています。

Top!cs

2021年度の入会案内について

毎年9月上旬のナースシップの登録データにより、次年度の「会費のお知らせ」が作成されます。10月下旬から順次発送予定です。

事務局からのお願い

会員情報の変更はキャリアナース(マイページ)でも手続き可能です。
キャリアナースから、現在の登録状況をご確認ください。
□座の名義が変わった、姓が変わった等...
11月末までに変更の手続きをお願い致します。

キャリアナース

こちらから
アクセス
可能です⇒
QRコード



男性看護職奮闘記

音楽を通じて私ができること

私は趣味でギターを弾いています。社会人の頃に出会った大切な人がいました。一緒に居ることが当たり前のように思っていたのですが、その人を看取ることになり、私は笑うことは勿論、生きる希望もありませんでした。しかし、最期のとき看護師さんに言った「あなたがいて良かった、幸せだった」という言葉が心のどこかにずっと残っていました。

学生の頃、彼女との日々と別れを歌にして誰かに伝えたいという思いに駆られ、初めて書いたオリジナルの曲を学校祭の舞台上で1人歌いました。それがきっかけで人伝に歌う機会をもらい、カフェやライブハウス、プロのアーティストの前座で出たり、ラジオに出演させていただいたり貴重な体験が出来ました。

今、看護師として働きながら地域の老人会、リハビリセンター、病院行事などで歌う機会があります。あの時の言葉が看護師としての今の自分に繋がっています。そのことに感謝し、「人を救う言葉を紡ぎたい」僕も救われたようにと。そう思っています。



社会医療法人社団 陽正会 寺岡記念病院
看護師 田邊 直人



職場からの応援メッセージ

あなたの存在が【癒し】です

社会医療法人社団 陽正会 寺岡記念病院 看護師長 井上 友美



音楽を通じて、人に与える影響は大きく、ライブで涙ぐむ方もいらっしゃいます。ただ、ギターが出来る、歌が歌えるだけではなく、今まで歩んできた田邊さんの人生そのものがあふれているからだと思います。

人生が人の心を動かすのかなあと、私も歌を聴きながら感じました。仕事の時も変わらない、穏やかで患者様やご家族に真摯に向き合って寄り添うことの出来る看護師に成長しました。

つつい忙しさが顔に身体に…前面にかもします私ですが、どんな時も、誰に対しても変わらない姿勢に私自身考えさせられています。もう何年立てば心穏やかに、田邊さんのように振舞えるのか???

写真もプロなみで芸術に秀でているのかと思うと、ランニングもかかさな体育会系でもあります。趣味を通じて人と触れ合うことを大切にしている彼ですが、唯一彼の素の部分が見えるのは「家族」でしょうか。可愛い息子の写真を山ほど携帯に入れ見せてくれる彼の一面もまた周囲に【癒し】の輪を広げてくれています。

栄養管理の基礎知識

9月19日、福山でNST専門療法士、集中ケア認定看護師の川畑亜加里先生を講師に迎え、「栄養管理の基礎知識」が開催されました。講義では、まず看護活動のアセスメントの枠組みには必ず栄養が入り、看護を考える上で重要であると話されました。入院中の栄養障害や医原性サルコペニアなどに触れながらの栄養評価法についての説明でした。



午後からは「がん」「急性期」「褥瘡」「消化器疾患」「認知症」における栄養管理のポイントに

ついて、事例も併せながら分かりやすく説明されて



川畑亜加里先生

ていました。栄養管理は、多職種が関わり、看護師だからこそ知り得る患者さんの小さな変化を情報共有できる記録の重要性、薬剤や栄養剤についての十分な理解、さらにその人の背景や個人の特性をふまえてアセスメントしていくことが大切であるなど多くの学びがありました。

盛りだくさんの講義内容でしたが、穏やかな口調で栄養管理における看護の役割を熱く語られる姿が印象的でした。栄養管理の重要性と奥深さ、また看護師としての役割を再認識できた研修会でした。

文：広報委員 村上 美由（広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院）
撮影：広報委員 高橋 紀子（公立学校共済組合 中国中央病院）

支部活動報告

広島東支部

広島東支部の支部活動について

広島東支部長 堀江 玲子（医療法人 JR広島病院）

2020年度新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、4月18日支部総会は書面開催とし、交流会（落語）は中止しました。7月11日東支部研修（医療現場の接遇）、8月17日救急研修、10月10日社経研修（アンガーマネジメント）の集合研修は感染防止の観点で中止しました。12月5日組織強化研修（摂食嚥下）は感染防止を徹底し開催予定です。

現在活動として、看護研究のサポートを国際大学の下見千恵先生に2施設に対して行って頂いています。2021年2月27日研究発表会開催の予定です。

2021年度は、感染防止対策を行い研修会開催や、地域貢献し看護の質向上と連携に努めたいと思っています。

廿日市支部

みんなの健康展に参加して

廿日市支部 総務担当 吉本 真由子（特定医療法人あかね会 阿品土谷病院）

毎年恒例の「あいプラザ健康まつり」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、今年度は「廿日市みんなの健康展」と題したパネル展示会の参加となりました。当支部では、「乳がんの自己検診」、「ハンドマッサージ」をテーマに誰もが簡単に自宅でできる内容をポスターにまとめ、展示を行いました。コロナ禍で以前のような生活が出来ず、ストレス等を感じておられる方々に看護の心をお届けできたのではないかと思います。



三原・尾道支部

こころ軽く、健康で働くために

三原・尾道支部長 大畠 玲子（総合病院 三原赤十字病院）



2019年8月撮影

「アンガーマネジメント研修」を昨年8月に開催しました。講師に「サンライズマリノ瀬戸」施設長アンガーマネジメント シニアファシリテーター久保田あけみ氏をお招きし、85名の参加がありました。

怒りを感じる場面は様々ありますが、対処方法について分かりやすく、楽しく学ぶことができました。アンケートには「怒りのコントロールの考え方について理解できた」「具体的な心のトレーニングを理解できた」などあり、実践で活かせる有意義な内容でした。

広報委員のおすすめ書籍 ● 広報委員 渡部 恵理子 (土谷総合病院)

アンデルセン童話 “ナイチンゲール”

「豪華な宮殿に住む皇帝は、灰色の小鳥の歌声を聞いて涙を流し、宮殿に迎えました。ある日、宝石で飾られた金色の機械の小鳥が届き、その姿と歌声に人々が夢になるのを見た灰色の小鳥は、森へと帰ってゆきました。

月日が流れ、重い病にかかった皇帝は、深夜迎えに来た死神に怯えて小鳥の歌を求めましたが、機械の小鳥は壊れて歌えません。瀕死の皇帝を救ったのは、森から現れた灰色の小鳥の歌声でした。」

AIが脚光を浴びる今、子どもの頃に読んで少し怖かったこの童話を読み返すことで、命あるものの真価について考える機会を得ました。読書の秋、皆様は何を読まれますか？



『ナイチンゲール』
作・ハンス・クリスチャン・アンデルセン

看護生涯教育・研究センターからのご案内

協会研修時の 新型コロナウイルス感染症 対策について

協会においては新型コロナウイルス感染防止のため、以下の対策を講じて研修会を開催しています。

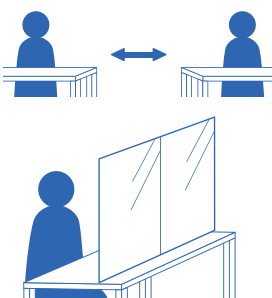
①検温の実施

スタンド式「体温測定器」を新たに設置し、受講生が前に立つだけで体温測定が可能となりました。測定した数値を「入館確認書」に記入し提出をして頂いています。



②会場の収容人数

研修会場のレイアウトを変更し、収容人数の1/3程度の受講者数として研修会を開催しています。また、机1台に1人掛けとしてソーシャルディスタンスを保っています。



③飛沫防止

演題の前にアクリルカーテンを設置しています。必要時にはフェイスシールドを着用します。

④受付から受講までの流れ

間隔を開けて受付を行い受講者の動線が交差しないように「入口」と「出口」を区別し表示をしています。



⑤研修形式

講師の都合によりTeamsやZoomによるオンライン研修を導入しています。

⑥図書室での対策

利用者の把握を行い、換気にも努めています。



⑦その他

研修終了後は研修室及び使用した物品の清掃を徹底しています。



「入館確認書」とは

協会を利用される方々に個人情報等を記載して頂き、クラスターが発生した場合は速やかに受講生や講師等に連絡をするために利用をする目的で作成した用紙をいいます。



つなぐ～ひろしまの街道 ～表紙の写真／西国街道 四面地藏(福山市)

福山市神辺町にある備後国分寺の南門を出て東へ進むと、国道313号と交差します。交差点をしばらく直進すると旧道と新道が分岐する箇所にとどり着き、旧道方面へ入るとまもなく左側の道路端に四面地藏があります。四面地藏の前にある道は、古代山陽道のうまや往還にあたります。この四面地藏は東西南北の四面に地藏尊が刻まれており、どの方向からも拜めるようになっています。全ての方向を優しく見守ってくれているこのお地藏様のように、私たちが患者さん・地域の皆さんを優しく見守る存在でありたいと思います。(相原 裕子)

発行所
公益社団法人広島県看護協会
〒730-0803 広島市中区広瀬北町9-2
TEL.(082)293-3362
発行責任者 山本 恭子
編集 広報委員会
制作 有限会社パル